

第3回

多治見市役所本庁舎跡地等 利用検討市民委員会

2. 委員会の役割

■ 委員会の役割

- ① 提言の検討（今年度・来年度）
跡地の活用について利活用案を提案



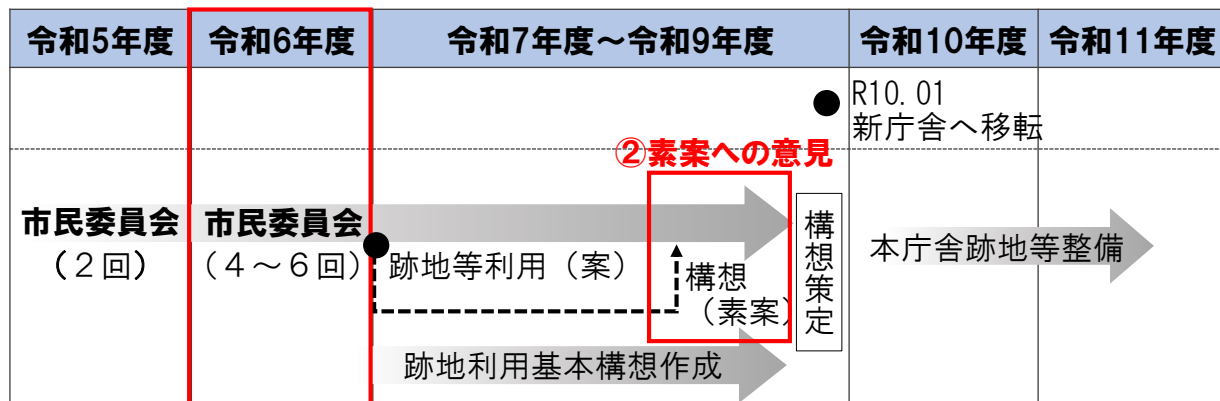
【提言書の構成案】

1. 現本庁舎跡地等のあるべき姿
2. 望ましい機能及び実現化に向けた課題
3. 市に求めること及び地元が取り組むこと

- ② 市がとりまとめた跡地利用基本構想素案について意見を述べる
（来年度以降）

2. 委員会の役割

■全体事業スケジュール（イメージ）

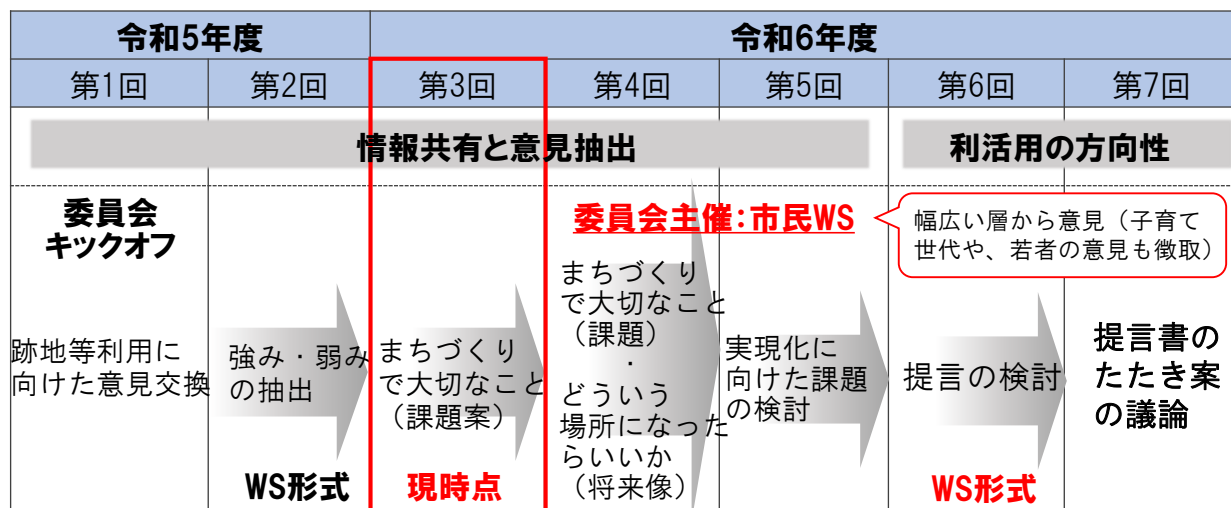


①提言の検討

2

3. 委員会スケジュール

■委員会スケジュール（イメージ）



3

4. 市民ワークショップについて

■市民ワークショップの概要

目的	・ より幅広い層からの意見を募る ・ 跡地等利用に向けた検討を進める（その後の委員会で、市民ワークショップの意見を踏まえて提言を検討）
参加対象	・ 高校生以上、居住地を問わない
募集人数	・ 20人
募集方法	・ 広報たじみ8月号、ホームページ、Facebook
内容	【第1回】 ・ 跡地等の利活用で大切なこと（課題）の確認・共有 ・ どのような場所になったらよいか（グループワーク） 【第2回】 ・ 第1回の振り返り ・ 各利活用案について、実現に向けた課題及び地域への影響の検討（グループワーク）

4

5. 市役所各課照会について（庁内の意見集約）

■概要

●各課へ照会（庁内の意見・アイデアの抽出）

多治見市役所の各課に照会を行い、跡地等の利活用について
アイデア・課題を抽出



●委員会へ報告

照会結果をまとめ、委員会に報告（議論の材料の一つとするイメージ）

5

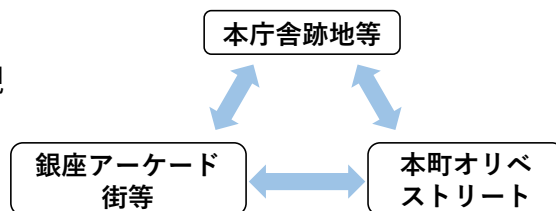
6. 情報共有

(1)第1回・第2回の振り返り

■跡地等利用の方向性に関する意見

⇒本庁舎跡地等・本町オリベストリート・銀座アーケード街等の周辺との連携の観点での検討

【周辺との連携の観点での検討】



■今後の進め方に関する意見

⇒以下の事項を踏まえたうえで、検討していくべきという意見があった

声	・若い世代の声・意見
実態（調査）	・駐車場利用の実態
動向（調査）	・公共施設統廃合事業の動向
事例（調査）	・庁舎跡地等事例
コスト	・市の予算

6

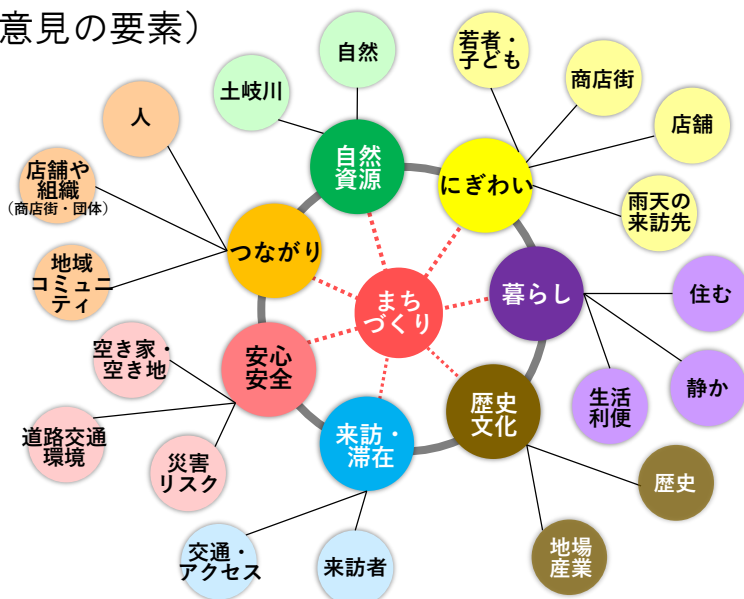
(2)第2回委員会のワークショップ結果

■マインドマップ（WSでの意見の要素）

⇒様々な視点で多くの意見が挙げられたため、マインドマップの形式でレベル感を統一して構造化（右図）

⇒挙げられた意見のほとんどは、まちづくりの視点の意見であった（右図の中心）

⇒大きく7つの要素に大別できる



7

（2）第2回委員会のワークショップ結果

■要素毎の意見整理

01 にぎわい

まちづくりで大切なこと

商店街と連携するにぎわい・魅力づくり

● 商店街

- ・ オリベストリート、銀座アーケード街が本庁舎に近い
- ・ 閉店している店舗が多く、夜は暗い雰囲気

● 店舗

- ・ 郊外大型店舗の影響により商店街が衰弱
- ・ 新しい店、拠点、事業が増えている
- ・ 公共施設の駅北側への移転に伴い、飲食店等が減少
- ・ 庁舎移転に伴い、賑わいが無くなる懸念

● 若者・子ども

- ・ 若者や子どもに魅力的な場所が少ない
- ・ 学校が多く、若者が通る機会がある
- ・ 近くに公園が不足し、公園代わりの子どもの遊び場は路上や駐車場

8

（2）第2回委員会のワークショップ結果

■要素毎の意見整理

02 暮らし

まちづくりで大切なこと

閑静で暮らしやすい

● 住む

- ・ 夜は静かで住みやすい・住んでみたい

● 静か

- ・ 静かで落ちつく

● 生活利便

- ・ 八百屋が1件あるのみで、生活必需品を購入できる買物店舗がない
- ・ 多治見駅からオリベストリートまで徒歩圏内で、坂道もなく通学通勤に便利

9

（2）第2回委員会のワークショップ結果

■要素毎の意見整理

03 歴史文化



まちづくりで大切なこと

地域の歴史文化・伝統と地場産業

● 歴史

- ・周辺地域に旧跡・史跡が豊富で、伝統行事が継承されている、文教地区
- ・戦火にあわなかったので古い建物が残存
- ・古くからの料亭や和菓子などの銘店がある

● 地場産業

- ・窯業原料が手に入りやすく、陶器というまちの産業が発展してきた経緯がある
- ・地場産業の香がするまち

10

（2）第2回委員会のワークショップ結果

■要素毎の意見整理

04 来訪・滞在



まちづくりで大切なこと

来訪者の受入環境

● 来訪者

- ・観光客の休憩場所・公共トイレが少ない
- ・来訪者の駐車場が不足
- ・今後、買物店舗が開業した際には、駐車場がない

● 雨天の来訪先

- ・雨の日の行先が少ない
- ・商店街は、アーケードがあり全天候型なので、歩行者に便利

● 交通・アクセス

- ・JRが2線あり、中央線は名古屋へのアクセス利便性がよい

11

（2）第2回委員会のワークショップ結果

■要素毎の意見整理

05 安心安全

まちづくりで大切なこと

災害リスクへの備え

- 空き家・空き地
 - ・空き家・空き地が多く増加傾向
- 道路交通環境
 - ・道路環境（狭隘道路・一方通行道路）が悪く、車でのアクセスが難しい
- 災害リスク
 - ・災害が少ない地域である一方で、浸水可能性のある地域でもある

12

（2）第2回委員会のワークショップ結果

■要素毎の意見整理

06 つながり

まちづくりで大切なこと

地域コミュニティと店舗・組織間のつながり

- 人
 - ・人と人がわきあいあいとしていて、住民のネットワークが形成
 - ・多治見へ愛着のある人が多い
- 地域コミュニティ
 - ・少子高齢化・人口減少の進行により、地域コミュニティの弱体化・高齢化が促進
- 店舗や組織（商店街・団体）
 - ・店舗間では、互いに店を紹介しあう関係・雰囲気が作られている
 - ・各種ボランティア団体は多いがプラットフォームがない

13

（2）第2回委員会のワークショップ結果

■要素毎の意見整理

07 自然資源



まちづくりで大切なこと

土岐川流域による自然資源

- 土岐川
 - ・ 土岐川流域の景観が美しい
 - ・ 河川空間（土岐川）を利用したまちづくりが推進されている
- 自然
 - ・ 自然豊かで、空気が澄んでいる（ホタル）

14

7. まちづくりで大切なこと（課題案）

■まちづくりで大切なこと

まちづくりで大切なこと

01 商店街と連携するにぎわい・魅力づくり

02 閑静で暮らしやすい

03 地域の歴史文化・伝統と地場産業

04 来訪者の受入環境

05 災害リスクへの備え

06 地域コミュニティと店舗・組織間のつながり

07 土岐川流域による自然資源

15

7. まちづくりで大切なこと(課題案)

■ポジショニングイメージ

地域固有の資源

懐

03 地域の歴史文化・伝統と地場産業
07 土岐川流域による自然資源

商店街

現在

将来

賑

01 商店街と連携するにぎわい・魅力づくり

02

閑静で暮らしやすい

静

将来

再生

現在

将来

住宅地

住民・来訪者が快適・便利に

02 閑静で暮らしやすい

04 来訪者の受入環境

快

●共通

05 災害リスクへの備え
06 地域コミュニティと店舗・組織間のつながり

16

9. 今後の予定

■委員会スケジュール（イメージ） ※再掲

令和5年度		令和6年度				
第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回
情報共有と意見抽出					利活用の方向性	
委員会 キックオフ			委員会主催: 市民WS			
跡地等利用に向けた意見交換	強み・弱みの抽出	まちづくりで大切なこと(課題案)	まちづくりで大切なこと(課題)・ どういう場所になったらいいか(将来像)	実現化に向けた課題の検討	提言の検討	提言書のたたき案の議論
	WS形式				WS形式	

次回

17